

Science Report of Kushiro City Museum

釧路市立博物館報

NO.434



2024.9

「未来を創る博物館」

はじめまして。

本年4月、釧路市立博物館第24代館長に就任しました秋葉薫(あきは かおる)と申します。

これまで18年6か月ほど釧路市の観光振興に携わり、最近始めたX(旧Twitter)のプロフィールのとおりに「漫画を含む面白本、海釣り、SKI、ワイン&成吉思汗が好き」です。

※当館公式アカウントとともに「秋葉です／釧路のWAO! 伝えたいんです」をフォローいただけると非常にうれしいです。

よろしくお願いいたします！

着任以降、それぞれの分野のエキスパートである学芸員から数々の目ウロコ話を聞き、非常に豊かな館長ライフを過ごさせていただく中「学芸員は素晴らしい“釧路の宝”。もっとたくさんの人たちに知ってもらって、豊かな釧路ライフを過ごしてもらいたい」という思いを強くしていました。

そんな時、釧路市主催の「SNSを活用した広報力実践講座(通称「釧路エクスマ」)」の機会を得、講師から「この講座の参加者100人が、釧路の魅力を1日1回365日発信することが狙い。世界に向けた釧路の発信効果でスゴイことを起こせる」と聞き、「まずは自分の人柄を伝え、興味を持たれることが大切」と、その場を楽しむあまりに画像を撮り忘れたり、文案を考えるあまりにその場を楽しめなかったりしながら1日1ポスト※(※Xでの発信単位)を楽しんでいます。

さて、先日、当館で博物館実習をされている未来の学芸員の皆さんと話す機会があり「博物館とは」と質問してみたところ「国籍や年齢、性別に関係なく、色々な人が楽しく自由に学べるところ」「観光等で訪れた方が地域を知るための施設」などの答えが返ってきました。

私からは「博物館という場は、自然環境の歩みと人の歩みとを総合的に把握し、未来に歩みだすきっかけが生まれるような場所」という豊田市博物館の高橋副館長の言葉を紹介させていただきました。

紹介の際には「これまで私は、博物館は地域の歴史＝過去を保存するという認識でした。でも、この言葉に触れ“利用者が未来を歩みだす知恵を学芸員から得られる博物館”という博物館像を得ることが出来たので、皆さんにおすそ分けします」という言葉を添えました。

未来を創る「釧路市立博物館」

この実現や持続には学芸員や当館スタッフの「おもてなしの心」に基づく、たゆまぬ努力が必須なのは当然です。

さらに、日ごろより我々を支えてくださる来館いただくお客様はもとより「釧路市立博物館友の会」をはじめといたします格別のご支援や、ご寄贈などをいただいております皆様方のお力添えを何よりも必要としてございますことから、明るい未来のために未永くよろしくお願い申し上げます。

秋葉 薫(釧路市立博物館 館長)

9月号目次

日本郵便株式会社北海道支社より感謝状	石川 孝織	3
開館40周年記念・常設展示室マリモ展示のリニューアル	加藤ゆき恵	3
北海道におけるワライカモメ <i>Leucophaeus atricilla</i> の観察記録	大内 幸奈	4
釧路市西部沿岸域の湿原における鳥類センサス調査について	貞國 利夫	6
開館40年を振り返る写真展の開催	戸田 恭司	8
新進気鋭?のキャラクター「ほっちゃれくん」誕生秘話	澤田 恭平	10
博物館周辺のエゾシカの食性(観察記録)	加藤ゆき恵	10
チャランケチャシ	仲谷 博章・疋田 頌子	11
博物館ニュース		12

〈表紙写真〉 市内西部に鎮座する音別神社境内には稲荷社があり、1929(昭和4)年に奉納された狐像と出会えます。今年3月下旬。マフラーが巻かれた姿に、地域の方との結びつきを感じました。思わずほっこり。狐も微笑んでいました。(戸田 恭司)

釧路市立博物館館報 No.434 2024年9月号 2024年(令和6年)9月30日発行

発行 釧路市立博物館 〒085-0822 釧路市春湖台1-7

☎ 0154-41-5809

釧路市立博物館Web <https://www.city.kushiro.lg.jp/museum/museum@city.kushiro.lg.jp>

発行責任者 秋葉 薫 編集 貞國 利夫 印刷 (株)藤プリント